

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所りらく長住

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				個別スペースを設け活動の幅を広げております。
	2 職員の配置数は適切である	○				来所時間に合わせ職員を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			肢体不自由の児童様へ階段等の配慮が必要です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				肢体不自由の児童様へ階段等の配慮が必要です。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者様のニーズに合わせてられるようアンケート調査を行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				各事業所統一した内容の会報やホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			第三者による評価の実施対応を検討しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				月にミーティングを行い質の向上を行っています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				保護者様、利用者様の現状の確認の場を設け今後の支援につなげています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				日々の行動状況を記録と残し対応を行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○				職員によるミーティングを行い利用者様にあったプログラムを立案しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				固定化しないよう各職員が対応し支援の偏りをなくしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○			当日来所の利用者様の注意点や支援方法等を伝達し利用者様の課題の把握に努めています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				当日の支援の方法や疑問点等を職員でミーティングを行い今後の対応や原因の追究を行っています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				当日来所の利用者様の注意点や支援方法等を伝達し利用者様の課題の把握に努めています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				当日の支援の方法や疑問点等を職員でミーティングを行い今後の対応や原因の追究を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				利用者様の利用状況や行動状況等を記録に残し今後の支援につなげています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				現状の把握に努め改善箇所や支援方法等を職員とミーティングを行い判断を行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				基本活動を組み合わせより適切な支援方法を検討しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○				管理者、児発管理者で参加し職員へ報告連 絡を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	○				保護者様と密に連絡を行わせて頂き、相談 や連絡と確認を行い徹底しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		○			各保護者様の主治医等の把握ができていな い為確認を行うようにしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	○				個人アセスメント表や調査票の作成を行い対応してい ます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している		○			依頼があれば行っている為、全利用者様へ の対応を検討しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	○				定期的に研修参加としており助言が必要な際は行って いる
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		○			活動プログラムとして行っていない為活動プ ログラムの立案の際に検討する予定です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		○			参加の際は行いが積極的でない為今後の対 応方法を検討しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○				保護者様へは職員が直接当日の状況を伝 達しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		○			保護者様からのご相談時に対応を行っていま す。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○				管理者等で説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	○				必要時には家庭訪問などを行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		○			保護者様等への参加連携の場を設けるよう 検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	○				当日中に保護者様からの苦情対応を行っ ており改善に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している		○			行事予定表と一緒に発信しています。
	35	個人情報に十分注意している		○			個人情報についての同意書を頂いており、 その範囲内で掲示などを行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	○				コミュニケーションツールや保護者様等の連 携を行いスムーズに活動プログラムに取り 組めるよう配慮を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		○			地域住民等の連絡の場を設けておらず意欲 的に行えていない、今後の対応方法を検討 しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			職員には周知徹底しているが、保護者様への周知は行えていないので情報の共有の場を検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○			定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				定期的な研修と指導を行っており支援対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			保護者様に説明し同意を頂いています。また事案が起きた場合は、保護者様へと報告を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				ファイルを作り保管しています。またミーティングを行い、全職員の周知に努めています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所 りらく長住 保護者等数(児童数) 30名 回収数 10枚 割合 30%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10					1階と2階に分かれての活動ができます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			4		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2				手すりの設置を行っています。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10					
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8		2			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10					
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					
	13	定期的に広報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6			4		ホームページにて掲載しております。
	14	個人情報に十分注意しているか	10					
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7			3		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10					2か月に1度避難訓練を行っています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10					
	18	事業所の支援に満足しているか	10					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。